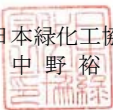


様

令和 8 年 5 月 日

特定非営利活動法人 日本緑化工協会
理事長 中野 裕 司



第 46 回緑化工技術講習会のご案内

拝啓 時下益々清栄のことと心よりお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会主催の緑化工技術講習会は、昭和 54 年の第 1 回開催以来、回を重ねるたびに大好評を得、お陰をもちまして本年は第 46 回をむかえ、別記のとおり開催する運びとなりました。

近年、斜面・法面緑化に対しては、緑化工技術・工法の適正な適用のみならず、生物多様性国家戦略、外来生物法などに示されますように生物多様性保全にまで配慮した緑化が求められております。しかし、これらは緑化・被覆に時間を要するため、お天気次第という側面を持つもので、確実性の低いものとならざるを得なく、緑化成績不良地の増加が問題となってきました。また、一方では増加する豪雨・地震など災害などに対する配慮も求められ、生物多様性保全と斜面・法面の保護・侵食防止のバランスを如何にとるかが問題となっております。このような昨今の斜面・法面緑化を取り巻く状況の変化に対応すべく、緑化工にご造詣の深い諸先生に講師をお願いし、緑化工を中心とした法面保護に関する講習を行います。

今回は、「1. 法面緑化地における炭素固定の可能性」、ならびに「2. 法面緑化の設計・施工に係る品質・施工管理基準の課題」の二つの特集を組んで講習を行います。

気候変動対策として炭素固定に関する取組が進んでおり、法面緑化地における可能性を探り、法面緑化の目指すあらたな方向性に関する議論の切っ掛けとしたいと考えております。

また、土木構造物は 100 年対応を目指した検討に入っており、法面緑化においても品質・施工管理の取組が重要となってきております。このためこれまでおさなりとされてきた品質・施工管理基準の設定の必要性、及び発注サイドに対する働きかけについて報告するとともに、品質・施工管理基準のあり方について考えるよすがとすべく講習を行います。

時節柄ご多用のこととは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

敬具

第 46 回 緑化工技術講習会 案内

- 主催 特定非営利活動法人 日本緑化工協会
〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206
FAX:03-5660-1664
E-mail : info@ryokkakou.jp 予備メール : ryokkakou@gmail.com
URL: http://www.ryokkakou.jp
- 後援 (予定) 日本緑化工学会
- 開催日時 令和 8 年 7 月 21 日(火)13 時 00 分～18 時 00 分 (受付開始 12 時 30 分)
令和 8 年 7 月 22 日(水)9 時 30 分～15 時 00 分
- 継続教育 CPD 森林分野 CPD / CPDS 9 ポイント

5. 会場

東京農業大学
世田谷キャンパス
国際センター2F 榎本ホール
・住所
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1 丁目 1-1

・アクセス
小田急線経堂駅 徒歩約 15 分
小田急線千歳船橋駅 徒歩 15 分
バス 約 5 分 (千歳船橋駅～農大前)
東急バス 渋谷行(渋 23)
等々力換車場行(等 11)
用賀行(用 01)

東京農業大学世田谷キャンパス
交通案内(交通アクセス)
<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>



6. 緑化工技術講習会 内容 (演題・講師、講演内容)

演 題	タイトル / 講師	講演内容
1 日目 7/21(火)		
12:00 受付 / 13:00～13:10 開会挨拶		
①13:10 ～14:40	植物による炭素固定の基礎と定量化の意義 国立大学法人 千葉大学 環境健康フィールド科学センター 准教授 黒沼尊紀	最新研究を基に、植物による炭素固定の基礎知識と定量化の重要性を解説し、日本国温室効果ガスインベントリを踏まえて、法面緑化における炭素固定評価の可能性について解説する。
②14:50 ～16:20	シカの影響下にある植生と不嗜好性植物を用いた緑化の可能性 大阪公立大学大学院農学研究科 緑地環境科学専攻 名誉教授・客員研究員 藤原直夫	シカの高密度生息地である大阪府北部・兵庫県西部において実施した法面緑化地での植生調査と不嗜好性植物を用いた食害抵抗性実験の結果から、食害下にある植生の特徴と不嗜好性植物を用いた法面緑化の可能性について解説する。
③16:30 ～18:00	森林土壌の炭素蓄積量調査で見えてくること 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所企画広報普及科 科長 古澤仁美	日本の森林土壌の特徴を解説するとともに、日本国温室効果ガスインベントリ報告書に関連して全国規模で約 20 年間実施されている森林の土壌炭素蓄積量調査について紹介し、そこから法面緑化地における炭素蓄積量把握の可能性について考察する。
2 日目 7/22(水)		
④ 9:30 ～11:00	地域の力、自生種植物を活かす - 事前調査・計画・設計・施工・施工後調査に求められること - (一社)自生種研究会 代表理事 福田尚人	地域自生植物の利活用は、植物の選定と種苗採取・精選・貯蔵技術が主要な工程として含まれる。過去の施工事例を参考にして、どのように自生種植物の活用が図られてきたのか、そのプロセスをたどるとともに今後の課題を示し提案する。
⑤11:10 ～12:40	品質問題と会計検査 (一財)経済調査会 参与 芳賀昭彦	会計検査での不適事項は、現場力・技術力の低下から公共工事の品質確保に問題が生じた設計不適切や設計・施工不良関連が約 8 割と大半を占めている。このため、会計検査は公共工事の品質確保を検査に重点を移している。これらの問題は「品確法」の趣旨の理解不足によるものと考えられるため、この点について解説する。
⑥13:30 ～15:00	法面緑化の設計・施工に係る品質・施工管理基準の課題 (特非)日本緑化工協会 理事長 中野裕司	生物多様性保全に配慮した法面緑化、すなわち質の高い緑化を求められてから 20 年以上が経過する。しかし、その品質を確保するための裏付けとなる根拠である、緑化資材の品質基準・基準値がないため、施工管理基準も又なく、設計要求と現場の齟齬・乖離が大きくなっているという現状に鑑み、その改善方向について提案する。

注) 講師、演題、時間など、講師の都合により変更することもあります。詳しくは、協会 HP をご確認ください。

7. 参加申込

参加ご希望の方は、参加申込書に参加者の氏名・勤務先などをご記入の上、E-mail、またはFAXでご送信ください（申込用紙は、次ページ）。

<申し込み記載事項>

勤務先名、所在地、電話番号

参加者氏名

参加者 E-mail アドレス（講習会の連絡・案内などに用います。この他の用途に利用しません。）

8. 申し込み期限

申込締切日時：令和8年7月15日(水)

先着200名様で切とさせていただきます。

締切が過ぎた場合でも、キャンセルなど席に空きがある場合は対応いたします。

(FAX・E-mailでお問い合わせください)

9. 受講料

1名につき、20,000円（会員10,000円）消費税10%含む

受講に関する費用(テキスト・講師料など)は、下記銀行口座へお振り込み下さい。

恐れ入りますが、振り込み料金はご負担ください。

振込期日：令和8年7月15日(水)

<振込先(銀行口座)>

みずほ銀行 新川支店(店番号127)

普通預金

口座番号 1479168.

振込先口座名 ニホンリヨクカコウキョウカイ

<領収書の発行など>

領収書の発行：振込用紙をもって領収書に変えさせていただきます。

(基本的に民間の方に対しては領収書の発行はしていません)

官公庁等領収書などが必要な場合は申込書にその旨御記載下さい。

予約確認書や参加券などの発送は行いません。ご了承ください。

<講習会終了後の支払について>

ご都合により、講習会終了後にお支払いの場合は、その旨、申込書にご記載下さい。

<変更・取り消しについて>

参加の変更・取り消しについては、E-mail、FAXにてお早めにお知らせください。

10. 見積書・請求書

見積書・請求書が必要な場合は、次ページの見積書・請求書をお使いください。

11. 講師などへの質問

講習内容に関する質問などを受け付けます。

下記 URL よりダウンロードの上、記載し FAX、メールにておながし下さい。

<http://www.ryokkakou.jp/pdf/46shitumon.docx>

12. 申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本緑化工協会 事務局

〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206

FAX：03-5660-1664

E-mail：info@ryokkakou.jp (予備メール) ryokkakou@gmail.com

※ 事務所に常駐していません。お問い合わせは、恐れ入りますが FAX・E-mail でお願いいたします。

第46回 緑化工技術講習会 申込書

FAX：03-5660-1664

E-mail：info@ryokkakou.jp (予備メール) ryokkakou@gmail.com

申し込み日 令和 6年 月 日

勤務先名		電話 FAX	
所在地	〒		協会からの お知らせ ※
氏名1		アドレス：	受け取る
氏名2		アドレス：	受け取る
氏名3		アドレス：	受け取る
氏名4		アドレス：	受け取る
氏名5		アドレス：	受け取る
連絡先 代表者氏名		アドレス：	受け取る
連絡欄	その他要望・連絡事項 <準備の都合上、懇親会参加の場合は人数を記入ください。> 注) 民間の方には原則として、請求書、領収書の発行は行いません。ご了解ください。 官公庁の方で、請求書、領収書の発行が必要な場合は、宛名、明細などをお知らせください。		

※ E-mail アドレスは、第46回緑化工技術講習会の連絡、及び次回講習会案内などに用います。今回の講習会の案内、緑化工に関するニュースを不定期に流させていただきます。講習会の案内、ニュースを必要とされない方は、「受け取る」を横線にてお消しください。

見 積 書 兼 請 求 書				令和 8年 月 日
様				東京都葛飾区金町 5-35-5-206 特定非営利活動法人 日本緑化工協会 理事長 中野裕司
下記のとおり御見積、請求申し上げます。				
税込合計金額		¥	円也	
品 名	数 量	単価(円)	金額(消費税込)(円)	
緑化工技術講習会受講料				
合 計				
備 考 (当協会は、インボイス登録は行っていません)				